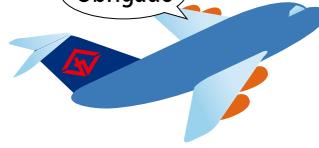


株主の皆様へ

第106期中間 (2014年4月1日~2014年9月30日)

Thank you 便り

Obrigado



山九株式会社

証券コード：9065

<http://www.sankyu.co.jp>



Merci

Salamat

شكراً

Dank u wel

ありがとう

Terima kasih

PLANT
ENGINEERING

安全

OPERATION
SUPPORT

Thank you

品質

LOGISTICS

コンプライアンス

धन्यवाद

謝謝

ขอบคุณ ครับ

감사합니다

CÁM ON

山九グループをより深く理解していただくために 株主の皆様からのよくあるご質問にお答えいたします。

? 当上半期の業績・経営環境について

当上半期(2014年4月1日から2014年9月30日まで)の世界経済は、米国では内需が底堅く推移し、緩やかな拡大基調を維持しているものの、欧州・中国・新興国では外需面を中心に弱い指標が散見され、これにウクライナ・中東等の地政学的リスクが重なって、全体として景気回復がもたつく状況となりました。国内では外需面において輸入が持ち直す一方で輸出は伸び悩み、個人消費面においては消費税の反動等から依然低水準が継続し、景気回復のペースは緩やかなものになりました。

このような環境下、山九グループにおいて物流事業分野では、輸入貨物や三国間輸送貨物等の獲得に向けた営業体制とアセットの整備を進め、構内作業量も含め、全体の取扱量を着実に増加させつつあります。一方、機工事業分野では、海外現地法人での足踏み

はあったものの、国内の大規模な高炉改修や大型SDM(大型定期修理工事)の獲得と全体工事の工程効率化、資材・機材の流動化による収益向上を図り、増益を確保いたしました。

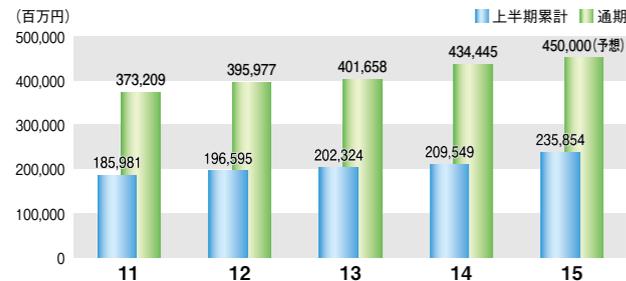
その結果、当上半期の売上高は2,358億54百万円と前年同期比12.6%の増収となり、利益面においても営業利益が98億69百万円、経常利益は98億59百万円と前年同期比それぞれ55.8%、58.3%の増益となりました。また、純利益は57億24百万円と同66.0%の増益となりました。



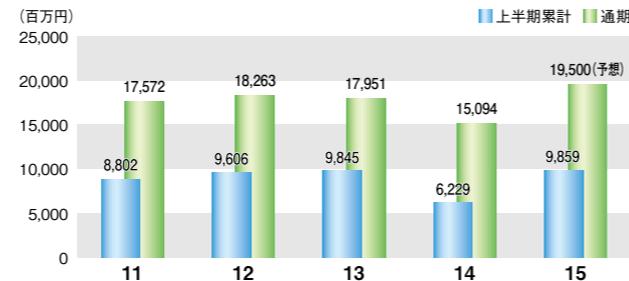
代表取締役社長

中村 公一

売上高



経常利益

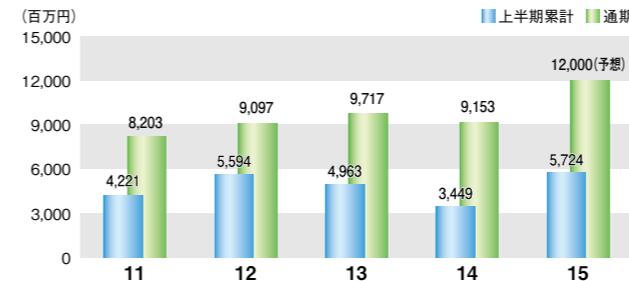


? 事業セグメントの状況について

「物流事業」は、国内では輸入を中心に主要港におけるコンテナ取扱量の着実な伸びとともに港頭倉庫作業の増加があり、内航定期船作業の収益改善も奏功したことから増収増益となりました。3PL事業では国内の輸送部門の一部コスト転嫁遅れや新規一般倉庫の立ち上げコストの発生等がありましたが、電子部品・化成品等の取扱量が増加したことに加え、海外の医薬関連品・化成品・自動車部品関連物流等が順調に推移しました。構内では石化構内での作業量減少はありましたが、鉄構内は総じて堅調であり、物流事業全体では増収増益となりました。

「機工事業」は、国内では大規模な高炉改修ならびにその同調工事を工程改善を伴って順調に完工したことや、製造設備の老朽化対策工事増加もあり、着実に収益改善を図りました。石油・石化のお客様における保全作業でも新規連結による収益向上に加え、件数の多かったSDMによる増収が大きく寄与しました。

純利益



利益面でも工事全体の工程効率化等が増収との相乗効果を生み、利益率向上に大きく寄与したことで、機工事業全体では大幅な増収増益となりました。

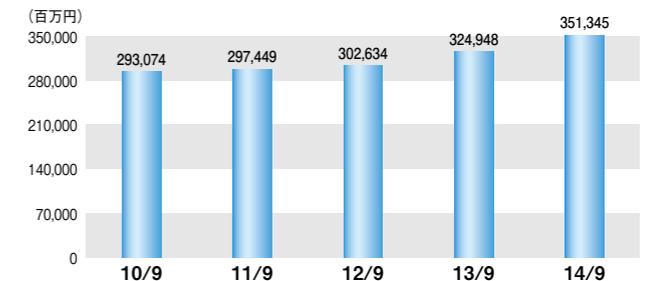
「その他事業」は、国内の構内を中心とした工事量の増大に伴う機材の賃貸が増加したこと等から、増収増益となりました。

? 通期業績の見通しについて

2015年3月期の連結業績につきましては、売上高4,500億円、営業利益200億円、経常利益195億円、当期純利益120億円を予想しております。なお、年間配当金につきましては当初の予想通り、1株9円を予定しております。

今後更なるお客様の生産設備の集約・合理化がグローバルに展開する中、海外における山九グループの事業拡大のため、競争力のあるコストを創り出す体制を整備し、工事管理体制の強化を進めてまいります。

総資産



CSR

5月 第25回「みどりの愛護」功労者
国土交通大臣表彰

●地域社会に根ざした活動

当社は、長崎県平戸市に社員教育施設「山九平戸錬成館」を昭和43年に設立。平成19年から研修の一環として月2回「社会貢献活動の日」を設け、公園や道路の清掃活動を行っており、5月に国土交通省主催の「第25回みどりの愛護」功労賞を受賞しました。これからも地域社会への貢献の一環として、錬成館の活動を続けてまいります。



山九平戸錬成館

海外
設備

7月 中国青島に合併会社・新物流センターを設立

●お客様に貢献できるグローバルネットワークの拡充



青島倉庫

山九グループと中国の繊維大手企業「青島即発集団股份有限公司」は7月に、同国における物流業務運営会社設立に合意、2014年12月に物流センターを開設しました。新会社「青島JSDロジスティクス」は通常の倉庫作業に加え、衣料品・寝装具・雑貨等の検品・検針等の流通加工を一貫して実施します。今回の合併会社設立を有効活用し、日本での輸入貨物を取り込み新たなビジネスモデルの構築を目指します。

山九
ユニーク8月 タイにおけるWAX製造設備
建設工事を受注

●「山九のユニーク」の事例紹介

日本精株株式会社殿のタイ現地法人であるNippon Seiro (Thailand) 殿から8月に、タイヤ老化防止用WAX製造設備の建築工事と、その後の構内操業、物流業務を受注しました。今回の受注は、プラント・エンジニアリング、ロジスティクス、オペレーションサポートの3事業が有機的に結びついた、山九グループのユニークなビジネスモデルにより実現できました。

組織

10月 コークス炉
プロジェクト部を新設

●お客様の負託に応える専門組織の構築

当社は10月、今後長期にわたり国内鉄鋼各社殿を中心に想定されるコークス炉の大規模修繕工事に対応できる専門組織として、ビジネスソリューション事業本部内に「コークス炉プロジェクト部」を設置しました。

海外
設備10月 インドネシアでチカラン
物流センター2期倉庫建設

●高品質なグローバルネットワークを提供

山九インドネシア国際は、同国西ジャワ州ブカシ県に、「山九チカラン物流センター2期倉庫」を2016年4月に開設いたします。今年2月に開設した1期倉庫が既に満庫となり、お客様からのご要望を受け計画を前倒しての建設となります。お客様の大型倉庫ニーズにも対応できる施設品質・拡張性を備えた、同国東部地区における最高品質の物流センターと位置付けています。



山九チカラン物流センター

国内
事業10月 長さ60m、重量70tのブロック100個を輸送
東京外環自動車道

●お客様からの高評価を得る重量物の実力

東京外環自動車道 高州高架橋北工事(埼玉県三郷市)において、ユニットドーリによる高速道路路揚げ(最大長約60m・重量約70tのブロック合計約100本)の大ブロック輸送作業を実施しました。

工事進捗の効率を最大限に図るため、ユニットドーリ5セットを投入し、道路中央分離帯のなかの限られたエリアにおいて、ジャッキアップ搭載から架設エリアまでの一括輸送作業を、約3ヶ月間に亘り実施しました。

入念な事前計画のもと、一般交通に対する影響が比較的小さい深夜帯の限られた規制時間の中、一部車線を規制して、周囲交通・地域に配慮した確実な輸送作業を遂行することができ、お客様から高い評価を頂くことができました。

これから東京オリンピックなど首都圏の社会基盤整備工事がますます増加しますが、「重量物の山九」としての実力を発揮して、お客様に選ばれる作業を提供していきます。

(株式会社IHIインフラシステム・川田工業株式会社 特定建設工事共同企業体殿からの受注)

山九グループ
2014年PR映像

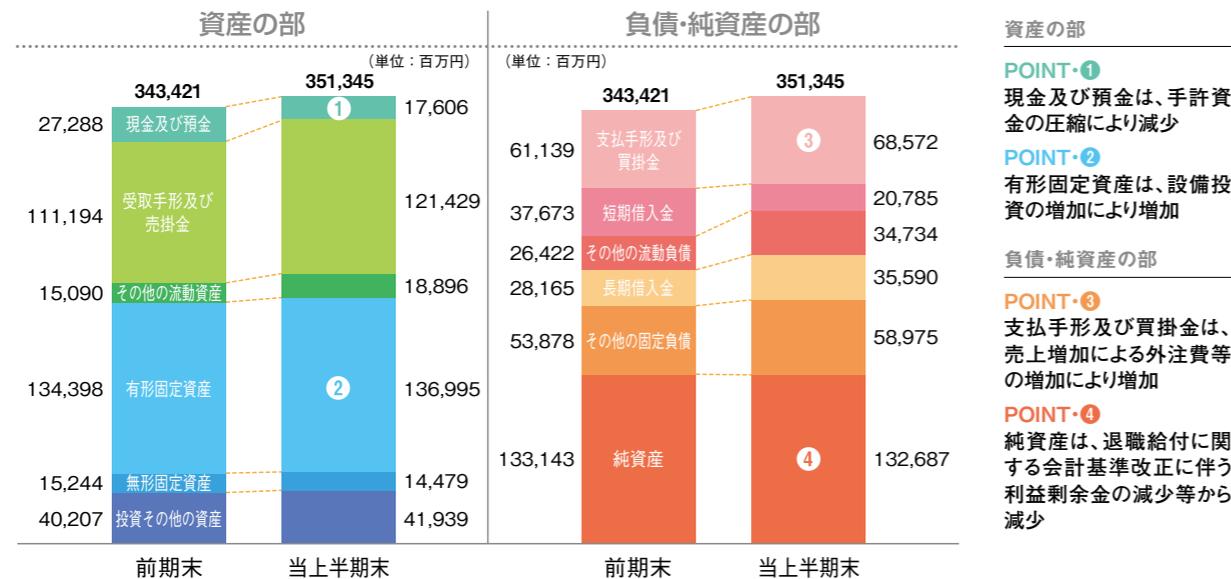
日経CNBC社が制作している山九グループのPR映像が完成。今回は「山九のユニークを探れ」をテーマに、「錬成館」やグループ最大の工場である「黒崎工場」などこれまで映像で紹介していなかった代表的施設が登場しています。

<http://www.sankyu.co.jp/company/gallery.html>

黒崎工場

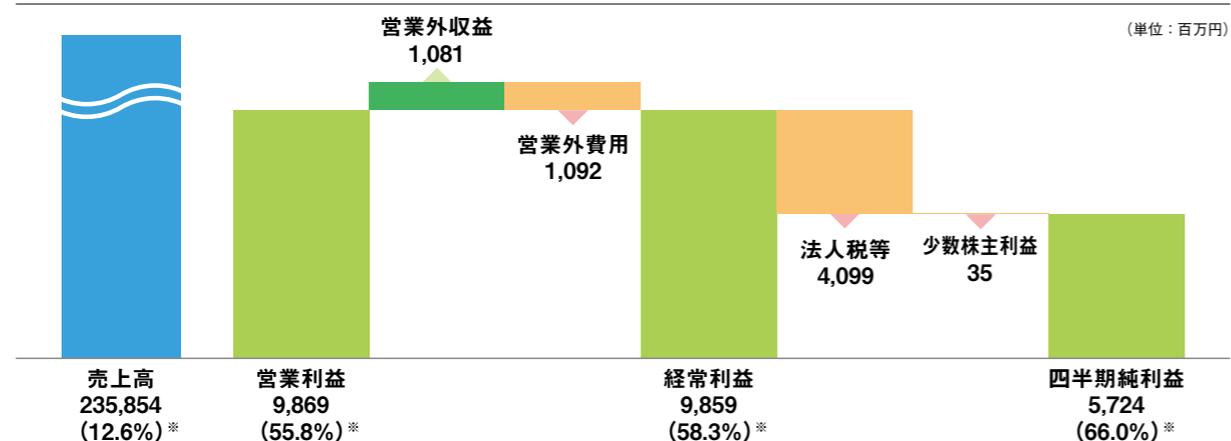
財政の状況

前期末：2014年3月31日
当上半期末：2014年9月30日



損益の状況

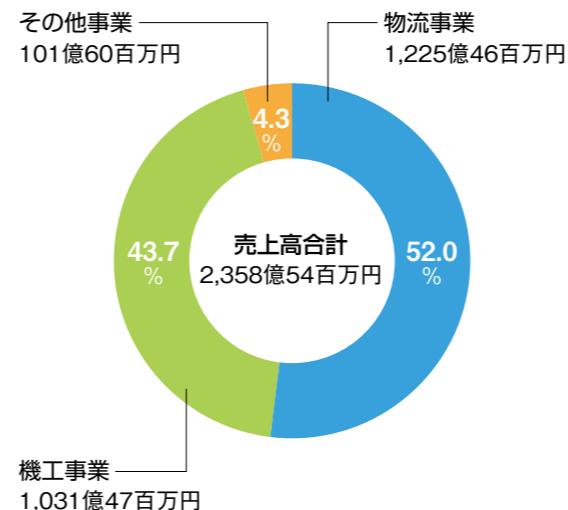
当上半期：2014年4月1日～2014年9月30日
※()内は前年同期比



(注)金額については、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

セグメント別売上高比率

当上半期：2014年4月1日～2014年9月30日



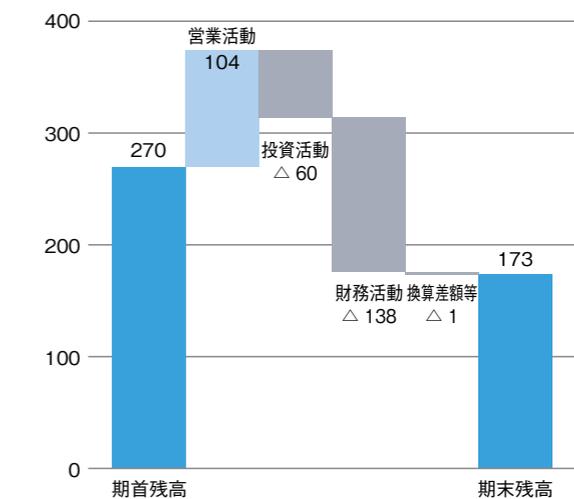
セグメント別売上高



(注)金額については、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

キャッシュ・フローの状況

当上半期：2014年4月1日～2014年9月30日 (単位：億円)



(注)金額については、一億円未満の端数を切り捨てて表示しております。

コーポレートデータ (2014年9月30日現在)

会社名	山九株式会社
住所	〒104-0054 東京都中央区勝どき六丁目5番23号
資本金	28,619百万円
事業所	国内支店40、海外駐在員事務所1
関係会社	国内49、海外現地法人40
従業員数	31,288名(連結ベース)
お問合せ先	総務・CSR部 Tel.(03)3536-3939
IRホームページ	http://www.sankyu.co.jp/ir/

● IR関連のより詳しい情報については当社IRサイトをご覧ください。

株式データ (2014年9月30日現在)

発行可能株式総数	1,000,000,000株
発行済株式総数	326,078,030株
株主数	15,242名
大株主	

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	24,004	7.36
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	19,409	5.95
新日鐵住金株式会社	10,080	3.09
公益財団法人ニビキ育英会	9,800	3.00
株式会社みずほ銀行	8,310	2.54
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	8,288	2.54
ジュニパー	7,045	2.16
山九従業員持株会	7,017	2.15
明治安田生命保険相互会社	6,000	1.84
東京海上日動火災保険株式会社	5,251	1.61
合計	105,205	32.26

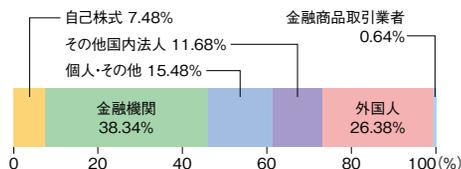
株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日まで
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-7111 (通話料無料)
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.sankyu.co.jp/koukoku/ (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなります。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

所有株式数別構成比率



1株当たり配当金 / 配当性向



 **山九株式会社**

証券コード：9065

<http://www.sankyu.co.jp>